

まつもと 公民館報

発行
2014
9/30



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 15

(撮影 2014.8.24)

＝ サイトウ・キネン・フェスティバル松本 (SKF) ＝ 心を込めた歓迎の音色が響く!!

**SKFを盛り上げる
合同演奏会**

8月24日(日)、小中学生や社会人700人による合同吹奏楽演奏会が、キッセイ文化ホール前の広場で開催されました。

昨年が続いて市街地のパレードは雨で中止となったものの、天気が回復したので小澤征爾総監督が「外でやろう」と提案。急ぎよ広場に移動して、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとともに迫力ある音色を響かせていました。

合同演奏会で5年ぶりに指揮をした小澤さんは、「SKFの最初の2年間は松本城ではなく、ここでやった」と紹介し、「ここで出来て本当に嬉しかった。ありがとう」と感謝されました。

SKFは来年から「セイジ・オザワ松本フェスティバル」と改称され、楽都松本を象徴する音楽祭が続くことを願っています。

出かけよう 信州スカイパークへ

空港ジェット化20周年、F D A (ラジドリームエアラインズ)の8色の機体①ドリムレッド、②ライトフル、③ピンク、④グリーン、⑤オレンジ、⑥パール、⑦イエロー、⑧ティーングリーン。今日は何色の飛行機? 広大な芝生から眺めてみませんか!

日本で一番標高の高い空港

信州まつもと空港は、標高657・5m、昭和40年開港で来年50年の節目の年になります。当初は、地形の関係で欠航便数が多少多目でありましたが、改良の結果、現在就航率97・5%の高水準を維持しています。

平成22年J A L (日本航空)が撤退しF D A が就航することになりました。定期便(札幌線、福岡線)の利用者数は、両便とも毎年増加を続けてい



広い芝生の上で見る飛行機

ると、空港管理事務所宮川美郎次長は力強く語られました。標高が高いと空気密度が薄いため大・中型ジェット機就航は難しいとのこと。現在の機種での複数便化を図る課題として、運用時間があげられます。民間定期路線として、ジェット機が就航している空港は全国に62。運用時間ランキングは60位。今井・笹賀・神林・和田地区との協議の結果、現在の17時が19時まで可能となり、今後の展望にも光がさしてきました。

4つの顔をもつ都市公園

公園としての整備は、昭和53年やまびこ国体、平成5年信州博覧会、13年アルウィン竣工を経て順次整備がなされ外周10km、面積141畝の広大な公園となりました。信州スカイパークには、次の4つの顔があります。

①レクリエーションの公園
大きな広場での遊びや、ア

ストレッチ遊具を利用した運動ができ、バーベキュー広場で楽しい時を、広い芝生でゆっくり過ごすこともできます。

②スポーツの公園

スポーツ観戦から、ジョギングやウォーキング。老若男女を問わずに楽しめるニュースポーツ施設も整備されています。

③人と人をつなげる公園

スポーツやイベント、ボランティア活動を通じ、人々とのコミュニケーションの舞台になります。

④花でいっぱい公園

広い園内には多くの花が植えられ、季節に応じた花を楽しむことができ、「花の公園プロジェクト」では、花壇づくりに参加できます。県営の公園でありませんが、指定管理者制度が導入され、TOYBOXが管理にあたっています。所長の御子柴寿朗さんは、「二円の黒字でいい。利益優先にならず、幅広い年齢層に対応する公園に」と話されたのが印象に残りました。



子どもたちに人気の「おもしろ自転車」

フリーパーク

カタクラモール

周辺の再開発



再開発が予定されているカタクラモール周辺

- A** 最近、カタクラ一帯の再開発計画が何かと話題になります。やはり中心市街への影響が心配。地元産品を扱うなどして、地域全体の活性化につながればよいが――
- C** 地元の第三地区には学校が多く、周辺は通学路。地区では独自に交通環境の調査も行っている。単に賛成・反対を言っているだけでなく。カフラスなどの歴史的な建物も、ぜひいい形で残してほしい。自分はその辺りが蚕業で栄えていたことも知っている。残すにしてもただ飾っておくというわけにはいかない。どう活用するか。
- E** 今回、いざなくなるかもしれないとなってから騒ぎ出したけれど、我々が古い物をあまり顧みてこなかったのも事実ですよ。いずれにしても、「松本らしい」開発であってほしいね。
- D** カフラスなどの歴史的な建物も、ぜひいい形で残してほしい。自分はその辺りが蚕業で栄えていたことも知っている。残すにしてもただ飾っておくというわけにはいかない。どう活用するか。



いつも大盛況の「よってけや」

「男性に公民館に来てもらうために、居酒屋でもやったらどうか」という言葉がヒントになりました。平成 20 年に始まったこの活動は、隣組や町内の仲間づくり、災害時の助け合いにもつながると期待されています。

健康づくり推進員や P T A の協力もあり、新旧住民の交流も盛んになってきました。特に青山様・ぼんぼん・三九

盛んな居酒屋公民館「よってけや」

より多くの住民が公民館活動に参加して欲しい、そんな願いが「居酒屋公民館」となりました。二美町 2 丁目町会の「よってけや」、7 月に始めたばかりの大庭町会の「おれんち」、町内公民館を中心に仲間の輪が広がっています。

町内公民館で「居酒屋」広がる

写真でつづる まつもとの今昔⑱

～ 松本駅アルプス口(西口) ～



昔

(2002.9.23 写真提供: 日本報道写真連盟)
西口の改札を入ると 6 番線の大糸線と 7 番線の上高地線ホームに直結。旧自由通路は改札口横の階段を上って、東口に行くことができた。



今

(2014.8.29 撮影)
2007年に駅舎が改築され、少し南に移動した。アルプス口広場や自由通路が新しくできて、明るく開放的な眺望を確保している。

健康づくり推進員や P T A の協力もあり、新旧住民の交流も盛んになってきました。特に青山様・ぼんぼん・三九

島立の大庭町会では、今年の 7 月二美町 2 丁目町会の活動を参考に、公民館居酒屋「おれんち」を始めました。開催回数はまだ 2 回ですが、楽しめることを第一に考え、無理をせずに活動をしています。

公民館居酒屋「おれんち」がスタート

郎など、子ども行事を通じて交流が進み、参加者も増え、手応えを感じています。

「これからも参加者を増やし、メンバーが固定化しないよう努めていきたい」と村岡館長は話しました。



「おれんち」専用の前掛けをして

より格安で居酒屋専用の前掛けも作られました。

居酒屋のメンバーが地区のソフトボール大会に快く参加してくれるなど、企画した大庭公民館の藤森喜久代館長の思いは早くも実を結びつつあります。

おこひる

「リンゴの蜜ってどこから入れるんだ？」友人は蜜が人の手で入れられるかと思っていた。こういう人が意外に多い▼気が置けない友だちとの集いで上京する折、前もって、リンゴ学を 15 分ほどにまとめて話をするように注文をもらっていた▼光合成だけでは蜜はできない。霜を 2、3 回浴びなければいけない。そして鳥に突かれる前に収穫してしまう。一夜漬ける知識ではあるが、蜜のできる化学反応の説明に質問が相次ぎ、時間を忘れて盛り上がった▼最近店頭でニュージランド産の小ぶりなフジを見かけた。味は淡白、値段も含めて地元産には遠く及ばない。摘果、球回し、葉摘み、霜当て、でかくておいしいリンゴを作る絶妙な工夫と手間

は他国の農家に真似はできない。リンゴとアップルは違うのだ▼外国産の果実輸入は少ないが、加工用では国産は圧倒され、全体としてリンゴの自給率は 6 割に満たない。貿易自由化多国間交渉が行われている。生産農家が、おいしいリンゴを作り続ける意欲を削がない経済環境の保たれることを願うばかりだ。

地域探訪

歩まろう松本!

19

第二地区ウォーキングコース

第二地区は住宅地域と商業地域とで形成されています。高齢者率が高いこともあり、かつての松本の町の良さ、住民の気配りの良さを今に伝える数少ない地区の一つです。

第二地区には「まつもと市民芸術館一周2・6キロ」のAコース、「第二地区町会一周4・2キロ」のBコース、「松本城・薄川一周9・2キロ」のCコースがあります。今回は第二地区を網羅したBコースを紹介します。

地区の南端の薄川沿いに建つ公民館を出発し、美ヶ原を

眺めながら薄川沿いを歩き、大正10年10月25日に建立された市内では貴重な街頭記念碑の一つである「栄町街道記念碑・深志神社・鈴木伊織の墓・伊織霊水・源智の井戸等々の第二地区の名所を回り公民館に戻るコースです。

歩き始めると目線の先には



古い街並みが残る向島

美ヶ原の山々の優美な姿が見られます。薄川沿いの木々は、春は桜が咲き誇り、夏は青葉が美しく、秋には色づいて、四季折々に私たちの目を楽しませ、心をいやしてくれます。相澤病院の前を通り、古くからの趣を残す街並みを抜け、学問の神様深志神社で手を合わせてひと休み。掃き清められた境内は大木が茂り、夏でも涼しく、清々しいです。毎年8月12日は地区の盆踊りがこの境内で行われ、老若男女が集い賑わいます。蔵の立ち並ぶ中町通りから鈴木伊織の墓・伊織霊水を見、龍興寺、瑞松寺と寺を巡り、松本市の名水の一つ源智の井戸で喉を潤します。この井戸は市特別史跡で、市民や観光客に利用されています。あがたの森通りを松本駅方向へ向かい、深志二丁目の信号を左折してまっすぐに栄橋まで。再び薄川沿いを歩いて公民館に戻ります。第二地区の魅力満載のコースです。

わがまち自慢 第2回

内田は文化財の宝庫

内田地区には、国や市などが指定した重要文化財が数多く保存されています。まず、内田に馬場屋敷ありと知られる「馬場家住宅」・牛伏寺には「木造薬師如来坐像」をはじめ14の菩薩像など、また、牛伏川に造られた「フランス式階段工」が地区の代表的な文化財です。常楽寺には、松本城主小笠原秀政が植えたと伝えられている「コウヤマキ」が市の文化財に指定されています。境内には指定されている「ササラ踊り」がお盆の時期に踊られています。現在、内田子ども会育成会が中心となり、伝統文化の伝承に努めています。また、公民館では史跡や文化財巡りを行い、文化継承の活動に取り組んでいます。内田地区の文化財は、松本市文化財ホームページ「松本の中から」の中でも紹介されています。内田に一度足を運んでみてはいかがでしょうか、きっと新しい発見ができると思います。



常楽寺のコウヤマキ

地産地消のかんたんレシピ

これはお薦めチョウ簡単 『中華風冷奴』

ジューツとかけるアツアツ胡麻油がポイント!!

材料: 豆腐、ワケギ、花かつお、胡麻油、しょう油

1. 水切りした豆腐を2~3cm角に切って皿にのせる
2. 花かつおと刻んだワケギをその上のにせる
3. 胡麻油をフライパンに入れ、煙が上がるまで熱する
4. アツアツの胡麻油を、豆腐の上からジューツと回しかける
5. 最後にしょう油をかける

